

認定看護師が新たに加わりました！



7ヶ月間の研修期間を頂き、がん化学療法看護を学びました。先日、認定試験が終了し、当院で2人目のがん化学療法看護認定看護師となりました。今後は、皆様のお役に立てるよう活動してきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



患者さん自身が意思決定し、治療を受けながらもその人らしく過ごせるように支援することを目指しています

こちらが外来化学療法室です。ベッド数は11床あり、昨年度の外来化学療法件数は2300件でした。現在は、外科・乳腺外科・消化器内科・呼吸器内科・泌尿器科・光学診療科・アレルギーリウマチ科・の患者さんが治療を受けています。治療に要する時間や回数、目的は様々ですが、患者さんが安全・安心・安楽に治療を受けることが出来るよう努めていきます。

■ TOPICS 今回のテーマ

今回は「がん化学療法看護認定看護師の活動紹介」と「感染管理認定看護師からのお知らせ」です。

■ がん化学療法看護認定看護師のご紹介

がん化学療法看護認定看護師は、がん化学療法における新しいレジメンの安全・安楽な投与管理、副作用に関する支援、治療そのほかのことに関する意思決定支援などを中心に活動しています。

些細なことでも構いませんので、疑問や不明点がありましたらご連絡をお待ちしております。

■ 感染管理認定看護師からのお知らせ

寒さが厳しくなってまいりました。今日は「うがい」の効果についてお話します。喉に付着したインフルエンザウイルスは、15分程で体内に侵入します。長時間の外出から帰り、うがいをする頃には、もう感染が成立しているかも？それどころか、手洗いが不十分であれば、口元にウイルスを運んでしまうこととなります。やはり効果的なのは、十分な手洗いとマスクの着用ですね。

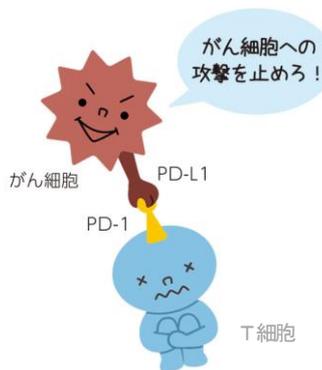
がん化学療法看護認定看護師の活動



◆ 免疫チェックポイント阻害薬オプジーボ®ってどんな薬？

免疫チェックポイント阻害療法とは、がん細胞が免疫細胞にかけているブレーキを外して、免疫本来の力を活用する治療法です。薬が直接がん細胞を攻撃するものではなく、患者さん自身の「免疫」を利用します。代表的な薬剤に、2014年7月に承認認可された抗PD-1抗体：オプジーボ®があります。悪性黒色腫に続き、2015年12月より非小細胞肺癌にも適応が認められました。今回は、作用機序について簡単にご説明いたします。

● がん細胞はT細胞にブレーキをかける



T細胞 がん細胞を攻撃する免疫の中心。PD-1という物質があり、PD-L1という物質と結合すると免疫の力が抑えられてしまう。

がん細胞 T細胞の攻撃を受けないようにPD-L1を作り出す。PD-1と結合し、「がん細胞への攻撃を止めろ！」という信号を発信する。

T細胞はがん細胞に攻撃できなくなってしまう...

● オプジーボはT細胞の攻撃を助ける

オプジーボ 抗PD-1抗体薬。

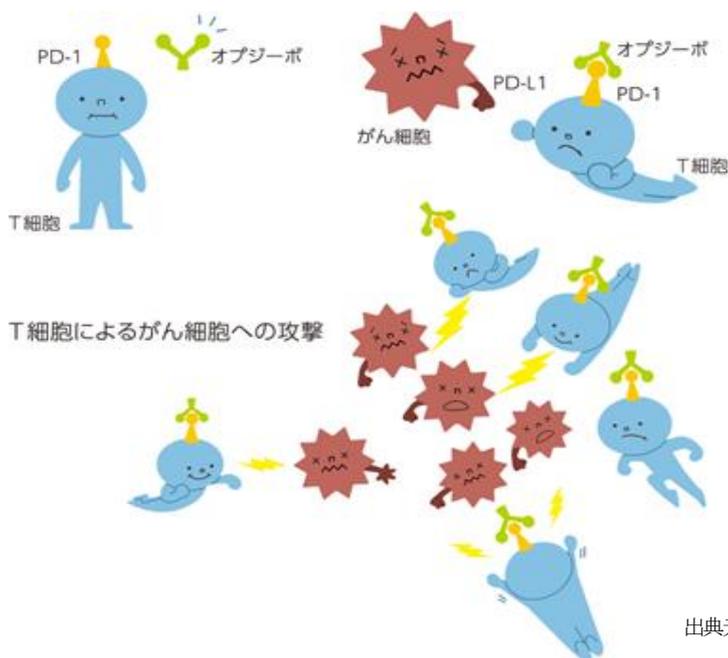


T細胞のPD-1に結合

↓
がん細胞が作り出したPD-L1と結合するのを阻止

↓
免疫機能にブレーキがかからなくなる

↓
T細胞のがん細胞を攻撃する力を高める



出典元：オプジーボを使用される方へ 非小細胞肺癌とがん免疫療法について
小野薬品工業株式会社 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社2016年4月作成

感染管理認定看護師の活動



◆がん化学療法における個人防護具（personal protective equipment）の使用

感染対策では、個人防護具(PPE)を用いて対策をとります。化学療法においても同様に個人防護具を使用して薬品の曝露対策を実施します。そこで今回は、個人防護具について解説いたします。がん化学療法を実施する上では、Hazardous Drugs (HD) といわれる「曝露によって健康障害をもたらすか、または疑われる薬品」を取り扱うことがあり、薬品調整、投与管理、排泄ケアにおいて個人防護具を使用することが推奨されています。

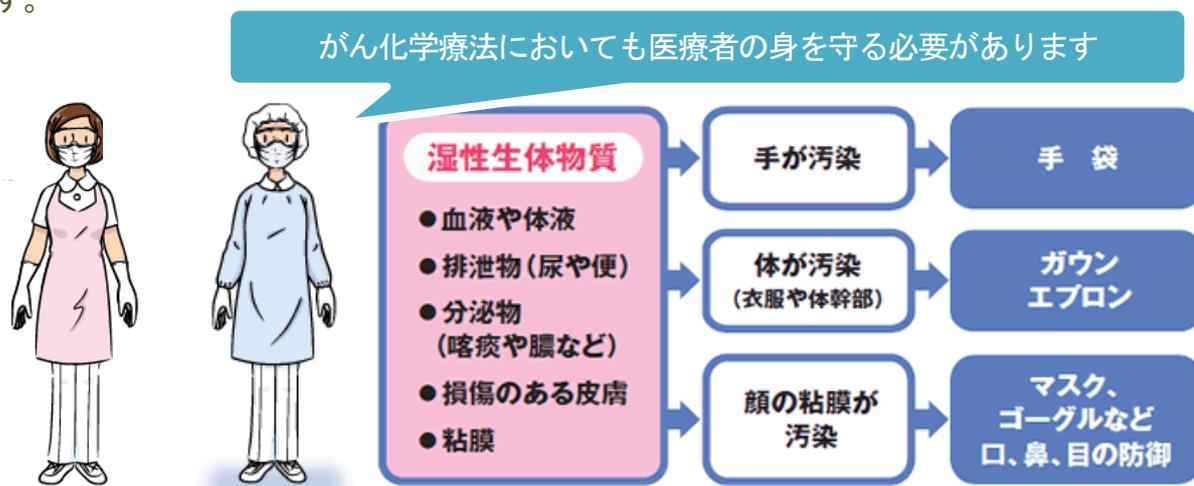


図1. 適切な個人防護具の選択

推奨されている抗がん剤の作業場面別の個人防護具（PPE）の選択

場面	手袋	マスク	ガウン (エプロン*)	ゴーグル シールド付きマスク
調整	● (二重)	●	●	●
投与管理	●	●	●	●
スピル (漏洩)	● (二重)	●	●	●
排泄物の取扱い	●	●	●	●
室内清掃	●	●		

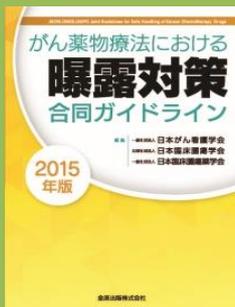


※1 排泄物や体液、汗などに抗がん薬の活性代謝物が含まれています。排泄処理時に個人防護具の着用が推奨される期間は薬品により異なりますが、長いもので7日間となっています。

※2 オムツの廃棄は、必ずビニール袋に入れて一般ゴミとして取り扱います。

*「がん薬物療法における曝露対策合同ガイドライン」では、エプロンの記載はなく、ガウン着用が推奨されています。

■ 今回のオススの書籍をご紹介します！



がん化学療法における
曝露対策合同ガイドライン 2015 年度版
出版社：金原出版
発行年：2015 年 7 月 15 日
編集：日本がん看護学会
日本臨床腫瘍学会
日本臨床腫瘍薬学会

昨年、がん薬物療法における曝露対策合同ガイドラインが発行されました。曝露対策の推奨内容やエビデンスについての詳細が掲載されています。日々、新薬が開発されるがん化学療法の取扱いについて、医療従事者の対応の指針となる一冊です。



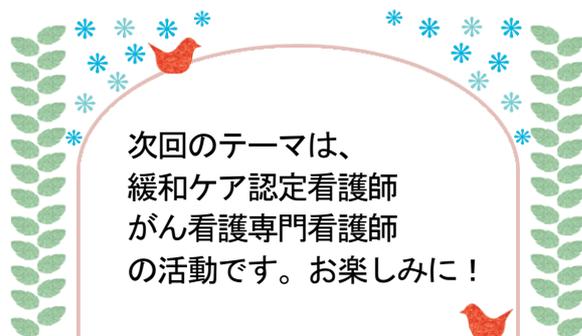
プロフェッショナル
がんナーシング 第6巻1号
出版社：メディカ出版
発行年：2016 年 2 月 1 日発行

抗がん薬の曝露対策について写真を用いてわかりやすく解説しています。患者への日常生活の注意点などの指導方法もわかりやすく記載されています。

編集後記

外来でがん化学療法を受ける患者さんは年々増加傾向にあります。外来化学療法室で活動するがん化学療法看護認定看護師の力により、更なる支援の向上を期待しております。

2017年も看護が活躍できるよう、よりよい情報をお届けしたいと思います。ニュースレターを宜しくお願いします！



公立学校共済組合 関東中央病院 看護部